

# 私の散歩道① 神奈川の景勝50選湘南平

日時：2020年4月3日（金） 天候：晴 約12km 歩数20291歩 やや健

コース：自宅（10時00分）→平塚駅→国道1号線→高来神社→女坂→高麗山→浅間山（181m）→湘南平→大磯駅→松並木道→国道1号線→（14時25分）平塚駅

参加者：市村

神奈川ウォーキングクラブは4月1日、新型コロナウイルス感染拡大で4月の9コース企画すべての中止または延期を会員みなさんに連絡しました。私も4月8日に「尾根道を歩き桜の弘法山へ」を計画して、みなさんと楽しいハイキングができると期待していましたが中止としました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に向け、黒岩神奈川県知事は4月1日、県民に夜間の外出を自粛求めるメッセージを発信。東京都と同様にライブハウスやカラオケ、ナイトクラブ、バーなどへの入店を控えるよう要請（神奈川新聞）。人混みへの不要不急の外出も控えるように呼びかけています。

そこで、3つの「密」（密閉空間、密集場所、密接会話）を避けて、「ひとりウォーキングクラブ」を立ち上げました。具体的には、交通機関を使わず、人込みを避けてのひとりウォーキング、題して「私の散歩道」。

4月3日、神奈川の景勝50選の湘南平を歩いて来ました。満開の桜、大山のくっきり稜線、コントラストが素敵でした。



## 自宅～老木の桜は満開～平塚なぎさプロムナード～閑散とした平塚駅

ストレッチを行いマスクでコロナ対策をして10時、自宅をスタート。近くの公園の老木の桜は満開、私が子どものころからあり、一番親しみのある桜の木です。「平塚駅南口から海岸までの県道608号線を、湘南の自然や文化を取り入れた安全で快適なうらおいあるみちとして整備された」という平塚なぎさプロムナードを歩きます。私は整備される以前の柳並木の道の方が好きでした。人が歩いていません。農協の一角で野菜を販売している「あさつゆ広場」もお客さんがいません。10時10分、平塚駅東口改札、閑散としています。構内には七夕飾りがつるされていますが、今年の七夕はコロナ感染のため中止となりました。



## 平塚駅北口～「囲碁のまち」～パールロード～平塚宿京方見附～花水橋

平塚駅北口へ下ります。秦野駅、伊勢原駅、本厚木駅などに向かうバスターミナルになっています。「囲碁のまちひらつか」の記念塔があります。近代囲碁に大きな功績を残した木谷實九段は、平塚に居を構えて70人ちかくの弟子を育てました。木谷實生誕100年を記念して設置されました。

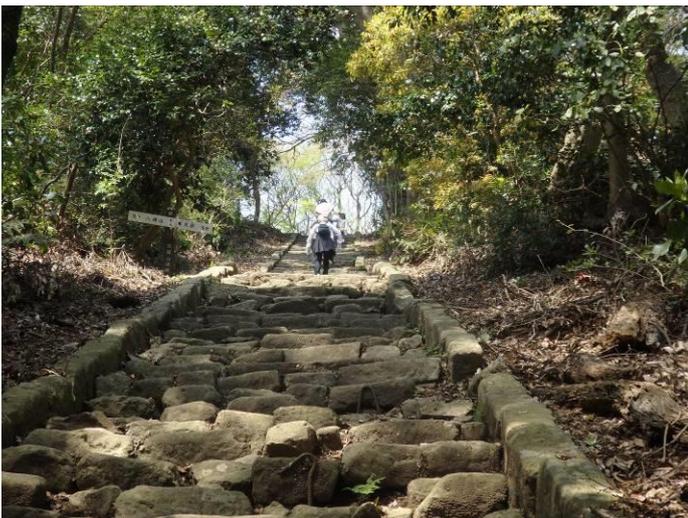
駅前のドラッグストア店頭には「マスクは完売」の貼り紙。安倍首相が1日、唐突に「布マスクの全所帯2枚配布」を発表。「不織布マスクを製造してよ」と思いながらパールロードへ。地元の商店にとって代わって大手チェーンの飲食店、居酒屋、パチンコ店などが軒を並べます。国道1号線に出て西へ進みます。ここも閑散としています。平塚宿京方見附を見て、10時43分に金目川の花水橋を渡り大磯町に入りました。



## 花水橋～高来神社～女坂～急登の石段～高麗山（標高167.3m）

花水橋からは右手に大山が見えます。東海道「日本橋から66km」の道標を通り10時50分、高来神社へ。境内の満開の桜が迎えてくれました。ここで水分補給、マスクを外し、衣類調整でジャケットを脱ぎリュックサックへ入れて10時55分にスタート。

神社裏からいよいよ山道です。左手は男坂、右手の女坂を上ります。女坂とは言っても上り道、少し汗ばんできます。ときおり東海道線の電車の音が聞こえてきました。最後の急登の石段、前を二人の年配女性が登っています。11時13分、標高167.3mの高麗山へ。家族連れがベンチで休んでいました。



## 高麗山～尾根道歩き～シャガの花～浅間山（181.3m）～湘南平

水分補給をしてシャツを一枚脱ぎ衣類調整。ここからは少しアップダウンのある尾根道歩き、高来神社から湘南平～善兵衛池までは関東ふれあいの道の一部になっています。関東ふれあいの道の道標をときおり見かけます。シャガなどの草花が咲き誇っていました。

11時35分浅間社がある浅間山へ、この日のコースの最高峰標高181.3m、一等三角点もあります。少し下って最後は木段の上りです。11時45分、湘南平到着です。この日は家族連れから年配者まで歩いている人が多く、20人位の人とすれ違い、10人ほど追い抜いてきました。



## 神奈川の景勝50選湘南平（昼食） 200人程のハイカー＆花見客

湘南平には花見客やハイカーが、昼食をとったりボール遊びを楽しんでいたりで200人ほどいました。桜は満開でしたが、密集・密接を避けて宴会をしているグループはいません。ベンチに座り、菜の花辛し和えと竹の子煮の弁当で昼食。相模湾からの南風が吹き上げてきていっぺんに汗が引きました。

相模湾の海は江の島から三浦半島、伊豆半島が望めました。大島など島群は見え、箱根連山の右奥に見えるはずの富士山も見ることはできませんでした。丹沢山塊から大山まではくっきりと見えました。展望台からみた赤白のツートンカラーのテレビ塔が青空に映えていました。



## 湘南平～下り道では人に出会わず～善兵衛池～菜の花畑～大磯駅

12時20分、大磯駅方面へ下山開始です。こちらの道には人影がありません。15分ほどで民家のある所へ出ました。善兵衛池の案内板があり「(江戸時代末期)この辺りは水が乏しく荒れた山田であった。土地で人望があった善兵衛が用水池を作った」と書かれていました。今は菜の花畑が広がっています。

住宅街の桜や季節の花々を楽しみながら、関東ふれあいの道に別れを告げて東海道線の脇を歩きます。13時、大磯駅に到着、1万3209歩。まずはマスクをつけます。いつもはここから電車に乗るのですが、「3密」を避けて平塚駅まで歩くことにします。



# 大磯駅～松並木の旧東海道～大磯宿の江戸見附跡～化粧井戸～花水橋

大磯駅から下り道で国道1号線へ出て少し歩き、旧東海道に入ります。松並木の道の庭先に満開の桜が見えます。「この辺りが大磯宿の江戸見附があった」と書かれた案内板がありました。東海道線の竹縄架橋をくぐります。江戸時代の旧東海道を偲ばせる松並木道です。桜の木や柑橘系の木もあり絶好の散歩道です。

「雨の夜は静けかりけり化粧坂松の雫の音はかりして」の歌が書かれた大磯八景碑がありました。さらに進むと鎌倉時代の大磯の代表的女性「虎御前」の化粧井戸があり、「朝な夕なこの井戸水を汲んで化粧をした」と書かれていました。国道1号線にて花水橋、金目川（花水川）両岸は満開の桜並木です。



## 花水橋～平成の一里塚～カンパーニュ～平塚宿江戸見附跡～平塚駅

花水橋を渡ると、一里塚を現代に蘇らせようと造られた「平成の一里塚」がありました。パンの香りがしてきます。工場直売の「カンパーニュ」があり入店、食パンとプリンを購入しました。しばらく進むと「平塚宿の江戸見附」跡へ、石垣が組み立てられていました。東海道53次の平塚宿は、この江戸見附から朝見た京方見附までの間で、街並みは東西14町6間（約1.5km）で本陣、脇本陣などがありました。

さらに1号線を東へ進みます。14時25分、平塚駅へ到着。歩数計は20291歩を表示していました。



天候に恵まれたウォーキングでした。街中はひっそりとしていました。湘南平には何十回と足を運んでいますが、花見客&ハイカーが200人程もいてその多さにびっくりしました。この週末は不要不急の外出自粛、4日(土)は1817歩、5日(日)は0歩でした。(いちむら記)